

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	妊娠初期における感染症スクリーニング検査の疫学的検討		
1. 研究の目的と方法	妊娠初期には、お母さんと赤ちゃんの健康を守るために、いくつかの感染症について検査を行います。これにより、感染が見つかった場合でも早めに対応できるため、赤ちゃんへの感染を防いだり、必要な治療を始めることができます。 日本では、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、梅毒、エイズウイルス（HIV）、風疹ウイルスなどが主な検査対象となっており、全国の妊婦健診で広く実施されています。当院では、より安全な母子管理のため、トキソプラズマやサイトメガロウイルスなど一部の感染症についても検査をさせていただいております。これらは他の感染症と比べてデータが少なく本邦において貴重なデータです。 そのため私たちは、実際に当院で妊婦さんに行われている感染症検査において、どれくらいの方が陽性になるのかといったデータを調べ、今の検査の内容が今の時代に合っているかどうかを検討しています。そして、将来に向けてより適切で無駄のない検査体制を考えていくことを目指しています。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2019年1月1日から2025年6月30日までに慈恵医大附属病院で分娩した方のうち、妊娠初期に感染症スクリーニング検査を受けた方		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	母体の年齢・妊娠歴・既往歴・分娩方法・妊娠中の合併症 児の出生時妊娠週数・出生時体重・性別・先天性疾患の有無	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	川本 茉莉子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。	

	責任者	
6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025 年 8 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 産婦人科学講座 研究責任者：川本 茉莉子(カワモト マリコ) 電話番号：03-3433-1111(代表) (内線)3521(産婦人科医局) 対応時間：平日 9：00～17:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。